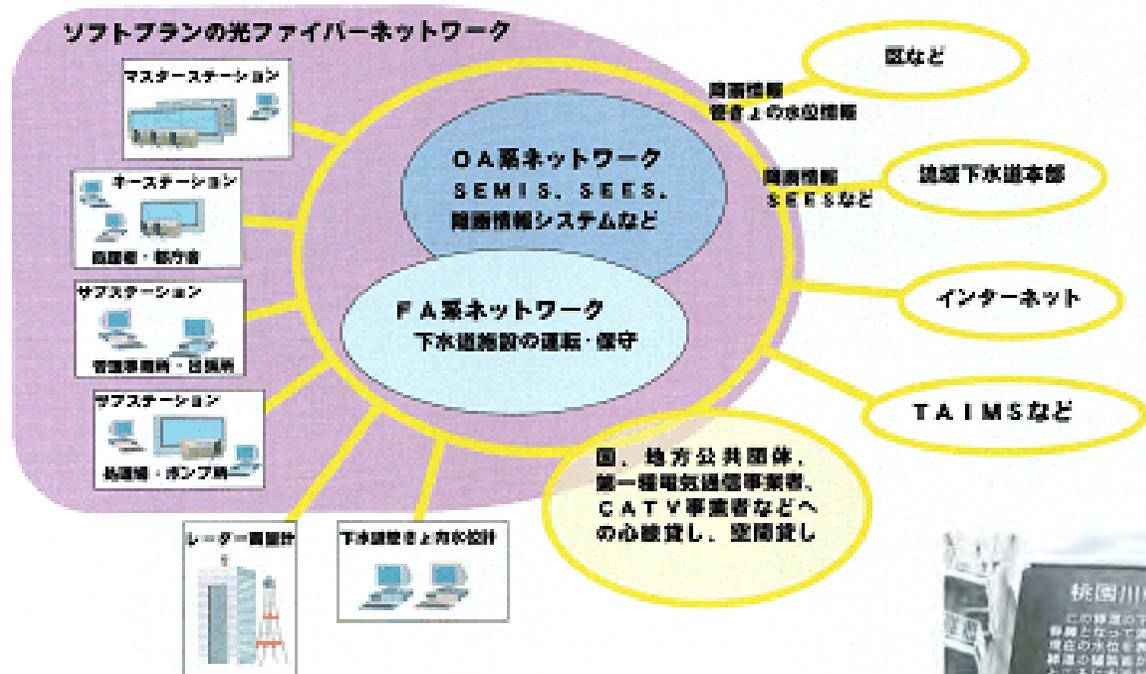


## 2. 地方公共団体や国におけるICTに係る取組状況

# ICT導入の先進事例 < 東京都の事例 >

- 大都市を中心とする一部の先進的な自治体においては、高度なICTの導入を既に積極的に進めており、下水道事業の効率化が図られている。
- **東京都**では、**下水道光ファイバー網**を布設して、74箇所の**下水道施設の遠方監視・制御**を行っている。また、降雨レーダー情報システムによる降雨情報をインターネットで一般公開するとともに、浸水危険地区への**水位情報の公表**を行っている。



東京都光ファイバーネットワークの概要  
(ソフトプラン)



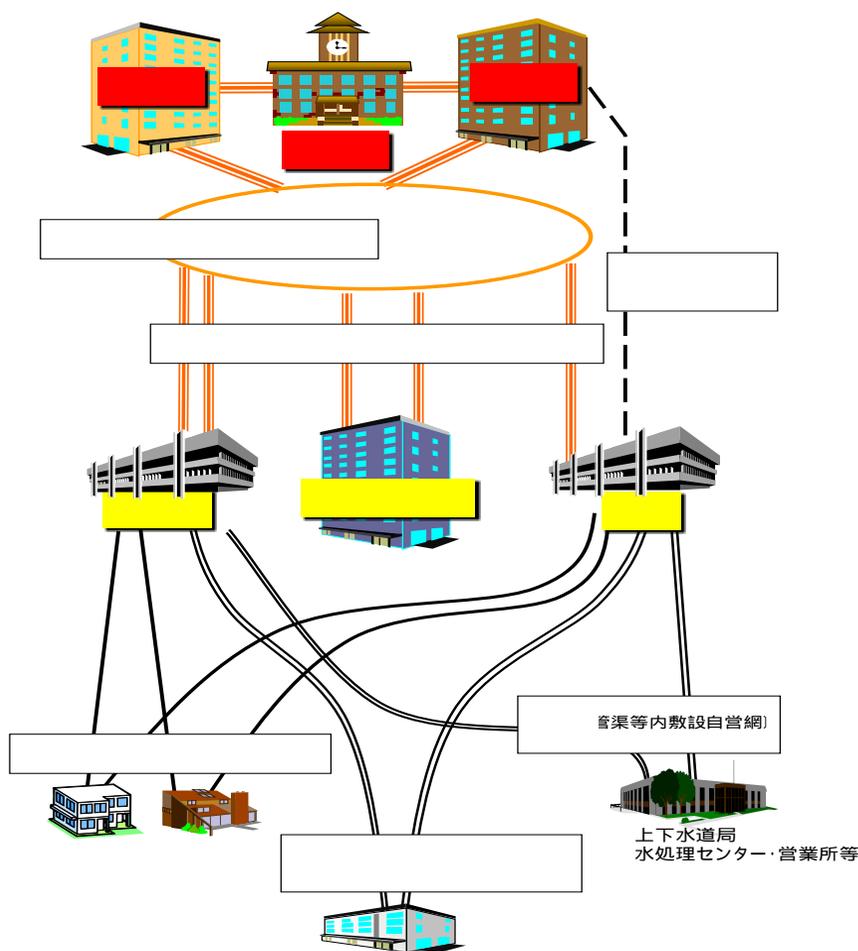
TV会議による災害対応



水位情報の公開

# ICT導入の先進事例 < 名古屋市の事例 >

〇 名古屋市では、下水道や地下鉄を利用して光ファイバー網を布設し、下水道施設の遠方監視・制御に活用するとともに、下水道以外の区役所庁舎や土木事務所とも接続して行政用途にも幅広く活用している。また、水位やポンプ運転情報などインターネットを通じた一般公開を行っている。



名古屋市光ファイバー網の概要

名古屋市上下水道局  
Nagoya City Waterworks & Sewerage Bureau

最新画像

堀川・新堀川系排水ポンプ運転状況  
平成26年01月20日 14:52現在 (5分毎に更新されます)

お住まいの地域を担当する排水ポンプを、河川探知

撮影時刻 14:52  
観測点名 堀川左岸正木UP  
河川名 堀川左岸正木UP  
観測点所在地 中区正木地内

名駅前ポンプ所運転状況  
平成26年01月20日 14:52現在 (5分毎に更新されます)

は運転中 是停止中 是データ受信障害

河川水位・ポンプ運転状況の公開

# ICT導入の先進事例 < 仙台市の事例 >

〇 仙台市では、効率的なアセットマネジメントを行うためのツールとしてICTシステムを導入している。ICTを導入することで、維持管理などの情報の確実なデータ化が図られるとともに、業務プロセスの見直しによる業務の効率化が図られている。また、システム化により道路陥没や浸水などのリスクの管理も図られており、市民サービスの向上にも努めている。

業務フローマネジメントの概要

未決箱  
(業務フロー待ち受け画面)

The diagram illustrates the business flow management system. It features several software screens: a main dashboard with multiple data tables, a detailed task list, and a 'Pending Box' (未決箱) for workflow management. A central figure of a person in a suit is shown interacting with these systems, with callouts indicating different stages of the process. A large green arrow points from the top-left screen towards the bottom-right screen, suggesting a flow or integration of data.

管路維持台帳システム・リスク評価システム

This screenshot shows a GIS-based system for pipe maintenance and risk evaluation. The main view is a city map with various colored lines representing different pipe types or risk levels. A legend on the left lists categories: 下水道台帳 (Sewerage ledger), 計画汚水 (Planned wastewater), 下水道台帳 (Sewerage ledger), and 交通量 (Traffic volume). A central panel displays 'リスク評価システム (GIS)' (Risk evaluation system (GIS)) with a '発生確率' (Occurrence probability) indicator. A 'カメラ調査' (Camera survey) icon is also visible.

安全カレンダーシステム

このスクリーンショットは、安全カレンダーシステムを示しています。上部にはGISマップがあり、「地区改築工事」(District reconstruction work)の位置が示されています。右側のポップアップには、周辺人口、排水能力、交通量、計画汚水量、復旧費用、発生確率、リスクなどのデータがリストアップされています。下部には、実施時期の調整に関するデータテーブルが表示されています。

周辺人口<sup>4</sup>、排水能力<sup>3</sup>、交通量<sup>3</sup>、計画汚水量<sup>2</sup>、復旧費用<sup>3</sup>、発生確率<sup>1</sup>、リスク<sup>1</sup>

実施時期の調整